

No. 1247

空の安全を守る

去る9月28日、日本赤軍によって引き起された日航機乗っ取り事件。法治国家の尊厳をもゆるがしたこの事件はまだ記憶に新しい。この乗っ取り事件をきっかけに政府はハイジャック防止対策法の改正案を国会に提出。内容は航空の危険を生じさせる行為処罰法など三法の改正から成り、刑罰強化が中心となっている。この法案は11月26日成立した。12月はハイジャック防止月間、羽田空港では厳重な保安検査が実施されている。特に国際線では航空会社カウンターでまずチェック。つぎは税関を通る時に行われる検査。X線による手荷物検査やボディチェックが念入りに行われる。この装置を通すとなか味は一目りよう然場合によってはさらに塔乗前にダブルチェック。ハイジャック防止法は12月19日から施行される。尊い人命を危険に落とし入れるハイジャック。これを未然に防ぐためにも国民ひとりひとりの協力が必要だ。

初春を彩る人達

— 愛 知 ・ 師 勝 —

名古屋市の北隣りに接する愛知県西春日郡師勝町。人口36,000人、農業を主体とした小さな町である。この小さな町に、全国でもここだけに古くから伝承されている郷土芸能がある。能田徳若万歳と呼ばれるのが、それで今から130年ほど前に伝わった。この万歳には楽譜があるわけではなく、楽器、セリフのいいまわし、踊りはすべて人から人へ受け継がれてきた。昭和47年、師勝町の無形文化財第一号に指定された能田徳若万歳は現在長瀬勇さん（68才）たち7名の方によって受けつがれている。結婚式、宮の奉納などで舞うこの芸能。もちろん新春にも舞う。今初春の舞をめざして練習にも熱が入る。新しい年の始め、能田徳若万歳が美しい彩りをそえることだろう。